

伊勢広域環境組合ごみ処理施設整備基本構想(案)に係る住民説明会 概要

【日 時】平成 31 年 2 月 12 日（火） 19：00～20：10

【場 所】伊勢市ハートプラザみその

【参加者】28 名

【事務局】（敬称略）

役職等		氏名	参考
伊勢広域 環境組合	管理者	鈴木 健一	伊勢市長
	副管理者	世古口 哲哉	明和町長
	〃	辻村 修一	玉城町長
	〃	藤本 亨	伊勢市副市長
	事務局長	中井 宏明	
	総務課長	北岡 孝裕	
	業務課主幹	伊藤 猛	
	〃 整備推進係長	吉村 直樹	
	〃 整備推進係	竹内 大輔	
伊勢市	環境生活部長	坂本 進	
	〃 参事	出口 昌司	
	〃 環境課長	古布 武	
明和町	人権生活環境課長	松井 友吾	
玉城町	税務住民課生活環境室長	見並 智俊	
度会町	副町長	藤田 心作	度会町長代理
	防災環境課長	中西 章	

【配布資料】

ごみ処理施設整備基本構想（案）【概要版】

1.開会

事務局照会

管理者あいさつ

（体調不良により、ここで管理者退場）

2.説明

事務局から説明

3. 質疑応答

(意見者 A)

今回、ごみ処理施設が更新されるということだが、今の施設にはない発電やエネルギー利用がされるということで、温水プールの併設を強く希望する。公設の温水プールは、三重県下を見ても津以南には全然ない。健康管理という意味でも温水プールを考えてもらいたい。

(事務局)

新しい施設については、廃棄物エネルギーの利用が必須となっており、その中でどのようなものを活用して行くかということについては、十分に検討していきます。

(意見者 B)

今のごみ処理施設のあるところに住んでいる。明和町、玉城町、度会町（以下、「3町」）にも、伊勢市内にも候補地が何ヶ所かあるにもかかわらず、なぜ現在の地区に持ってくるのか。地元での説明会では、どうか理解してもらえるように努力しますと言うが、どういう努力をしてくれるのか。それから、月や年単位で 100 万円もらえるのではという声も聞こえてくる。ごみ処理施設で発電し、売電したお金をもらえたらいいと言ってくる人もいるかもしれない。原子力発電所では、電力会社が莫大な匿名寄付をしているが、この時代に税金からそんなことはできないはずである。とにかく 50 年経ったので、退いてほしい。お金をもらえればいいという意見が出てくるかはわからないが。そんなばかなことはありませんよね。

(事務局)

現在の地区の皆さまに大変ご苦勞をおかけしているのは、重々私どもも認識しています。本当にいろいろとお世話になっておりまして、ありがたいと思っています。

今回場所を選定するにあたりまして、災害の影響を受ける場所、各種の法令等によって規制されている場所などを除いていく作業をいたしました。その中で伊勢市から 6ヶ所、3町から各 2ヶ所で合計 12ヶ所の候補地を挙げてもらいました。その 12ヶ所を伊勢広域環境組合ごみ処理施設基本構想策定委員会（以下、「策定委員会」）で点数化し、4ヶ所に絞りこみ、順位付けをしました。最終的に、現清掃工場周辺を候補地にしたいと説明しております。

また、売電収入についてですが、地域の皆さまに現金としてお渡しすることはできません。今回の基本方針には、地域の皆さまに親しまれる施設にするだけでなく、地域に貢献できる施設でなければならないということがあります。それらを目指すため、地域の皆さま、構成市町と相談して、地域が発展する方法を考えていきたいと思っております。

(意見者 B)

話はよくわかるが、ほかの候補地があるのにさらに 50 年というのは、その答えになってない。ほかの候補地に移してもらおうのが普通ではないか。

(事務局)

現在の地区を最初から外すために、あるいは入れるためにということではなくて、12ヶ所の中の1ヶ所であった現在の地区が、順位付けをしたときに最終の候補地として残ったということとであります。

(意見者 B)

それも地元の説明会で聞いたが、50年引き受けてきたことは、策定委員会では何も考慮していないということだった。引き受けてきてさらにまた50年、100年続くようなところは日本全国探してもないと思う。パブリックコメントで現在の地区から反対の意見があったので、2番目3番目と当たってもらくなり、3町で考えてもらくなりしてほしい。

(意見者 C)

2月1日時点で意見を提出したが、それを読ませてもらう。まず、場所の問題で大反対だ。約半世紀にわたって西豊浜地区に迷惑をかけている。公害問題、風評問題、資産価値の低下とプラスの面は何もなかった。どこかに設置しなければいけないとわかっているが、伊勢、明和、玉城、度会の広域なのになぜ西豊浜地区なのか理解できない。もっと人里離れたところがあるのではないかと。私たち地区の人達は温厚であり声を挙げられないが、絶対反対というのが大方だ。

(意見者 D)

地元の反対があるのに、このような資料で西豊浜町を建設予定地としましたというのはおかしいのではないかと。近隣の市町でも同じ場所に造るといのはあまりないのでは。それから、住宅地の真ん中に造っているところもないと思う。

(事務局)

今回の説明会は、私ども行政側がこういう案で新しい施設の建設を考えているということをお知らせする目的であり、この中でいろいろなご意見をいただきながら、最終的なものを決めていきたいと思っています。まだまだ十分に協議をさせていただくことが必要だと思っていますので、よろしくお願いします。

また、地元の説明会でも同じ場所での建設がないのではとのご意見をいただきましたが、最近施設整備をしている、桑名広域清掃事業組合、四日市市、松阪市ではそれぞれの旧施設の隣に整備しています。鳥羽市と志摩市の広域での施設については、新たな場所で整備しています。お言葉を返すようで申し訳ありませんが、旧施設の周辺で整備している市町は現状としてはございます。

(意見者 D)

ない訳ではないが、なるべく山中とかではないのか。私が思うに新しい四日市市にしても、松阪市にしても平成27、28年から稼働しているが、山中ではないのか。こんな伊勢市のよう

な田園地帯の真ん中に、まわりに住宅地がずっと広がっているような中に建っているというのはまずないと思う。いかがでしょうか。

(事務局)

山間部にできる場合もあればできない場合もあるでしょうし、先程もご紹介しましたけれど、東京都の武蔵野市ですと住宅地の真ん中で、市役所の隣にございます。そういったところも場合によってはあります。ですから、それぞれの行政の事情であると思います。

(意見者 D)

同じようことばかりですみませんが、そうではなくて、地元が反対しているので別のところに移してくださいと私は言いたい。

(意見者 B)

市役所の横というのがあり、有害物質も出ないというなら、新施設を市役所の横に持っていったらいいのではないかと。だけど、原子力発電所も 100%安全という話もあったが、人の少ないところに建てている。福島で実際にあのようなことが起こって、何万人と地元を離れている状態になっている。新しい施設も 50 年経ったら、移ってくれるのか。そんなことはないだろう。また同じようなことで、ちょっと広げてこっちに来るかもしれない。それからパブリックコメントでは、建設候補地について、現在の地区と関係のない人がいいと言うに決まっている。そのような意見が集まったから、現在の地区にしますとでもするのか。とにかく 50 年経ったのだから、ほかに候補があるのなら移してください。

(意見者 A)

候補地で思いついたのだが、火山帯の関係は調べられたのか。

(事務局)

地震の発生しやすい場所などについては、除外して検討しました。

(意見者 E)

はじめて焼却場ができたのは、私の若かりし頃で、地元の有力者がこういう話をまとめて今日に至っている。私の記憶では、当時は地元の施設、設備であるとかの見返りがあったので、こういう状況に至ったのは事実である。ただし、この工場ができるときに 2 倍の土地を確保し、その半分のところに、余熱利用する温水プールやそういうものを造って、地元の皆さんに還元しますという話だった。これはいいかなと思ったのだが、その土地は、民間の会社に売却してしまい、見事に裏切られた。

私は平成 20 年度に地元自治会の役員をしたが、その 2、3 年前から、植山町のし尿処理施設の焼却炉が老朽化してきており、なんとか余力のあるこの清掃工場を使わせてもらえないかという説明があった。これも行政側に押し切られて、今の清掃工場で受けるということになっ

た。その時もそれなりに見返りがあり、それは人を雇用しますとのことだった。正規の雇用としてではなく、地元自治会が経営しなさいということで、我々は、人材派遣の資格も何もないなか、地元の人を使うためにすべての責任を負って進んでいった。この時に源泉徴収がされていなかったことが問題となり、市の職員に尋ねたところ、これは違反であると言われた。ただし、見返りがあるからそれでよいのではという発想だったので、私はその担当者を叱った。職員は、ほかの部署がやっていることという意識であったが、伊勢市としてこういうことをやっていて、我々は無知な人間で何も知らない、しかもそれが法律違反となったら、どうなるのかと。しかし、だれも得することはないので、このまま沈めてしまおうということで、しばらくそのままになり、2、3年後の区長が廃止すべきだということになった。

これらは、行政主導の中で始まったことであり、田舎の我々が源泉徴収のことで違反するという知識はなかった。これが過去の流れである。

これから、皆さん方がどういう姿勢でこれに取り組んでくれるのかというところが、私は非常に疑問を抱いている。二度も三度もというのは、行政側の姿勢として、いささか悲しいということです。

この施設が絶対に必要なことは事実であり、うちが受けるか、よそが受けるかである。そこで私は、第二、第三候補地も公表してもらえないかと提案したが、公表してくれない。

私は個人的に考えていることがある。今の工場から大仏山まで直線距離で1 kmだが、大仏山には立派なスポーツ施設がある。であれば、熱利用する温泉等を造って、基本方針の第1番にあるような安心、安全を配慮した施設になっているなら、どこに造ってもよいのではないか。今までのような行政側の姿勢ではなく、これからやっていく皆さんにとって、これはすばらしい発想である。しかも、大仏山には明和町、玉城町、伊勢市の境界がある。だったら、どこか分断して施設を造るのが一番いいのではないか。度会町の山奥の20~30 km離れた場所であれば、収集運搬にかなりマイナスになると思うが、直線距離で1 kmである。あの候補地をなぜ誰も挙げないのか、その辺のコメントを聞かせてもらえたら私はありがたい。

(事務局)

候補地の選定についてのご意見ありがとうございます。第二、第三候補地の公表については、たびたび地元の方からの要望がありました。大変申し訳ないのですが、これまでもほかの候補地の公表だけはお許しをいただきたいと申し上げてきました。市町が挙げた12ヶ所のうちの1ヶ所として、現有地の周辺を候補地とさせていただいた訳ですが、この場所も含めて、地元の皆さまの了解を得たのちに挙げたものではありません。地元の皆さまに公募の形でご協力をいただく方法があったのかもしれませんが、今回の候補地を選定する中ではそういう手法は取らずに、行政側の主導の中で候補地を検討したということでございますので、その辺につきましてはご理解をいただきたいと思っております。

(意見者 B)

何回もしつこいようだが、50年経ったことについての回答だけど、おかしいのではないかと。あなた達は関係ないし、ほかの町の人達も離れていて関係がない。どう考えても伊勢市の人

考えることが非道というか。あなた方は仕事でしょうが、一人一人が現在の地区に持って来ることをどう思っているのか、今度説明に来たときに聞かせてほしい。噂で聞いてきた100万円はもらえないようだけど、とにかく、ほかのところを当たってください。さっき言っていた大仏山も候補になるし、ほかのところがあると思う。真剣になって探してください。現在の地区からは退いてください。

(意見者 D)

付け足しになるが、私も大仏山はいい案だと思う。先程、温水プールを造ってくださいとの話があったが、温水プールの横にグラウンドまである。広い土地であり、津波も心配ないし、地盤はしっかりして地震の心配もないし、私はすごくいいと思う。

ついでに私の基本構想だが、私は山中につくって欲しい。とにかくあそこからは退いてほしいというのが私の意見だ。

今年の4月から桜浜中学校が開校する。何年か先に豊西、豊東、北浜、豊浜の小学校を合併し、桜浜小学校にするということで審議は進んでいるらしいので、私は桜浜小学校を今の清掃工場のところにしたら、こんなにいいことはないと思う。津波の心配もないし、スクールバスを運行するのも非常にアクセスがいい。中学校は新しく市が農地を買収したようだけど、小学校を造るのに、土地を買わなくてもいいということは、そのお金を校舎に回せるし、こんないい話はないと思いますので是非、大仏山に当たってください。そして、現在の場所を桜浜小学校の建設予定地にしてください。

4.閉会